

平成27年度  
産業経済局予算要求方針

【目次】

- 1 平成27年度産業経済局予算要求総括表及び経営方針・・・1
- 2 重点的に取り組みを行う主なもの・・・・・・・・・・・・・・5

# 1 平成27年度産業経済局予算要求総括表及び経営方針

## (1) 平成27年度産業経済局予算要求総括表

### 【一般会計】

平成27年度要求総額 78,111,390千円  
 (平成26年度予算額 87,830,889千円)  
 ※ 中小企業融資を除く前年度比 + 2.4%  
 前年度比 ▲ 11.1%

### 《主な事業》

(単位：千円)

事業名	平成27年度 予算要求額 (A)	平成26年度 予算額 (B)	増減 (A-B)
新規公立大学法人北九州市立大学環境技術研究所整備事業	28,242	0	28,242
新規自動車産業地域創生推進事業	22,000	0	22,000
新規中小・小規模企業総合支援事業	42,922	0	42,922
<3月補正予算> 新規ロボット産業振興プラン強化事業	25,000	0	25,000
<3月補正予算> 新規首都圏からの本社機能移転推進事業	12,000	0	12,000
<3月補正予算> 新規北九州の食の魅力創造・発信事業	36,800	0	36,800
<3月補正予算> 新規(仮称)みらいワークスタジアム事業	60,000	0	60,000
<3月補正予算> 新規MICE誘致推進強化事業	82,000	0	82,000
中小企業融資	57,200,000	67,400,000	▲10,200,000
※中小企業融資については、平成25年度決算実績をふまえ、予算規模を見直したもので			

【卸売市場特別会計】

平成27年度要求総額 1,053,735千円  
 (平成26年度予算額 785,400千円)  
 前年度比 + 34.2%

《主な事業》

(単位：千円)

事業名	平成27年度 予算要求額 (A)	平成26年度 予算額 (B)	増減 (A-B)
市場施設大規模緊急改良	357,599	164,000	193,599

【渡船特別会計】

平成27年度要求総額 778,537千円  
 (平成26年度予算額 347,500千円)  
 前年度比 + 124.0%

《主な事業》

(単位：千円)

事業名	平成27年度 予算要求額 (A)	平成26年度 予算額 (B)	増減 (A-B)
「こくら丸」新船建造事業	424,440	10,000	414,440

【競輪、競艇特別会計】

平成27年度要求総額 114,320,000千円  
 (平成26年度予算額 117,474,000千円)  
 前年度比 ▲ 2.7%

《主な事業》

(単位：千円)

事業名	平成27年度 予算要求額 (A)	平成26年度 予算額 (B)	増減 (A-B)
競輪事業	30,667,563	28,515,845	2,151,718
競艇事業	83,652,437	88,958,155	▲5,305,718

【産業用地整備特別会計】

平成27年度要求総額 1,938,433千円  
 (平成26年度予算額 1,203,000千円)  
 前年度比 + 61.1%

《主な事業》

(単位：千円)

事業名	平成26年度 予算要求額 (A)	平成25年度 予算額 (B)	増減 A-B
公債償還繰出金	1,627,754	896,364	731,390

【漁業集落排水特別会計】

平成27年度要求総額 145,945千円  
 (平成26年度予算額 42,200千円)  
 前年度比 + 245.8%

《主な事業》

(単位：千円)

事業名	平成27年度 予算要求額 (A)	平成26年度 予算額 (B)	増減 (A-B)
漁業集落排水機能保全事業	115,500	15,500	100,000

## (2) 平成27年度産業経済局経営方針

平成27年度、産業経済局は、次の3点に重点的に取り組む

- ◆国内の景気回復を取り込み、本市経済の好循環を生み出す。
- ◆地方創生の動きを追い風とし、新成長戦略の目標である新たな雇用創出にさらに弾みをつける
- ◆地元の声をよく聴き、中小企業や商店街など地元企業支援にしっかりと取り組む

新成長戦略に掲げる5つの方向性と18のリーディングプロジェクトを重点的に推進する。

主な取り組みは以下のとおり。

### 1 地域企業が元気に活動し続ける環境整備

- 中小企業の経営支援や商店街の活性化を推進するとともに、地域企業の活力を支える環境の整備を図る。

### 2 高付加価値ものづくりクラスターの形成

- 環境配慮のものづくりや、高齢化社会対応の製品づくりなどを支援し、「次世代自動車産業拠点」や「我が国をリードするロボット産業拠点」など、付加価値の高いものづくりクラスターの形成を図る。

### 3 国内潜在需要に対応したサービス産業の振興

- 高齢者の多い大都市として、「健康長寿社会を支えるサービス業の創出」、産業観光、リノベーションまちづくりなど「人が集まるにぎわいの街づくり」、サービス産業の「高付加価値化の推進、情報通信産業の集積」を推進する。

### 4 グローバル需要を取り込む海外ビジネス拠点の形成

- 生産技術やメンテナンス技術といった本市に強みのある分野での海外展開や、海外展開の足がかりやノウハウの提供など、市内中小企業への多様な支援を行う。

### 5 雇用創出に向けて

- 若者、女性、高齢者、障害者など求職者一人ひとりに対するきめ細やかな雇用のマッチングに取り組む。

## 2 重点的に取り組みを行う主なもの

(単位：千円)

### I 人を育てる ～子育て・教育日本一と創造性あふれる人材の輩出

#### 2 アジアをリードする頭脳拠点の形成

##### (1) 国際水準の知的基盤の強化

**新規**

○公立大学法人北九州市立大学環境技術研究所整備事業 28,242

平成24年3月に設置された「環境技術研究所」について、環境技術の「先駆者」を目指し、地域産業の発展に貢献する研究開発拠点の形成を図るため、常設施設の整備を行う。

○公立大学法人北九州市立大学図書館整備事業 625,000

老朽化し、狭くゆとりのない大学図書館について、学生が集い自主的に学べる施設として機能の向上を図るため、新図書館建設をはじめ、必要な整備を行う。

### IV いきいきと働く ～競争力のある産業振興と豊かな雇用創出

#### 1 高付加価値産業の創出

##### (1) 知的基盤の充実と成長産業の育成

**新規**

○北九州学術研究都市機能強化事業 1,749,134

北九州学術研究都市の利便性の向上、にぎわいづくり等を目的とした利便施設整備のため、土地開発基金先行取得地を買戻し民間事業者へ売却する。

**新規**

○ロボット産業振興プラン強化事業 25,000

(うち3月補正予算前倒し分 25,000)

介護・生活支援ロボットやインフラ点検ロボットの開発・実証支援など「北九州市ロボット産業振興プラン」の取組みを強化する。

**新規**

○環境エレクトロニクス拠点化推進事業 63,000

(うち3月補正予算前倒し分 63,000)

パワーエレクトロニクスを中心とした「環境エレクトロニクス」の拠点化推進のため、「環境エレクトロニクス研究センター」の開設等を行う。

## (2) 戦略的な企業誘致による新たな成長産業の集積

### 新規

#### ○自動車産業地域創生推進事業 22,000

東九州自動車道沿線の自動車関連企業のネットワーク構築による、地域間の強みや特性の相互補完を通じて、東九州地域の自動車産業基盤の強化に取り組む。

### 新規

#### ○響灘エリア未利用エネルギー活用誘致事業 10,700

若松区響灘エリアに集積する工場等から発生する未利用エネルギーや同エリアのユーティリティを活用した事業モデルを構築し、誘致活動を行うことで新たな産業拠点を形成し、雇用の創出に繋げる。

### 新規

#### ○首都圏からの本社機能移転推進事業 12,000 (うち3月補正予算前倒し分 12,000)

首都圏企業のBCP対策等のニーズ調査を行うとともに、市内BPO事業者とも連携し、本社機能の移転等の業務誘致に取り組む。

#### ○企業立地促進資金融資 3,407,876

資金が必要な企業に対し、融資制度を提供することにより企業立地を促進し、本市経済の振興及び雇用の創出・拡大を図る。

#### ○環境・エネルギー技術革新企業集積特別助成金 1,048,000

温室効果ガス低減に貢献する技術開発、または製品製造を行う企業の設備投資や新規雇用に対し助成を行う。

## (3) ものづくりを支える地域企業の競争力強化

### 新規

#### ○中小・小規模企業総合支援事業 42,922

「北九州市中小企業振興条例」を多くの企業や市民等に周知するとともに、中小・小規模企業への支援体制の強化、実態の把握、中小企業団体との意見交換等、条例の趣旨を実現するための事業に総合的に取り組む。

### 新規

#### ○開け！起業の扉・小さな夢の応援プロジェクト事業 49,610

若者や学生等の起業を促進するために、ベンチャー支援会社等のノウハウを活用して、起業応援事業（ワークショップや創業カフェなど）を実施する。

**新規****○次世代ものづくり技術支援事業 10,000**

北九州市内の中小企業等の基盤技術の高度化を図り、企業を持続的に成長・発展させるため、3Dものづくり技術など次世代ものづくり基盤技術の導入・活用の支援を行う。

**○中小企業融資 57,200,000**

中小・小規模企業の事業に必要な資金を融資することにより、中小企業の資金調達を支援し、経営基盤の安定・強化を支援する。

**2 商業・サービス産業・農林水産業の振興****(1) 地域の個性を活かした商業の振興****新規****○北九州市商圈調査 24,061**

北九州市及び周辺地域に在住している方を対象に消費購買行動等の調査を行うことにより、北九州市の商圈構造の変化を明らかにし、今後の商業施策に役立てる。

**新規****○プレミアム付商品券発行支援事業 1,000,000**

(うち3月補正予算前倒し分 1,000,000)

商店街等が実施するプレミアム付商品券の発行を支援することにより、個人消費を一層喚起し商店街をはじめ地域経済の活性化を図る。

**○リノベーションまちづくり推進事業 22,646**

遊休不動産の再生を図るために、リノベーションスクールを行い、新規創業者や新規雇用者の創出並びに街なかのにぎわいづくりを拡大させる。

**(2) 市民が豊かさを感じる生活関連サービス産業の振興****新規****○地域課題解決型サービスモデル構築支援事業 8,000**

地域における課題や需要に対し、新たなビジネスの創出やサービスの向上による解決を図るため、民間事業者等によるモデル実証を行ない、新たなサービスモデルの構築を支援する。



**新規****○サービス産業大学連携人材育成事業 5,000**

大学、企業等と連携して、将来的に地域のサービス産業において、エリアマネージャーや店舗経営等、経営の中核で活躍できる人材の育成を図る。

**(3) 農林水産業の振興****新規****○農地中間管理事業 5,588**

担い手への農地集積・集約化を図るため、農地の中間的な受け皿となる「農地中間管理機構」や、将来の地域農業のあり方を定める「人・農地プラン」を活用して、担い手への農地集積を推進する。

**新規****○食肉の低マイルージ化支援事業 1,712**

飼料価格及び子牛価格の高騰等で畜産経営が厳しいため、総合農事センターが市内畜産農家から子牛を購入し、市内小倉牛生産農家へ販売することによって、市内畜産農家の輸送・生産コストと手間を低減する。

**新規****○北九州の食の魅力創造・発信事業 36,800**  
(うち3月補正予算前倒し分 36,800)

本市を代表する食の魅力の創造や市内外への情報発信に取り組み、食による産業振興、食によるにぎわい創出を図る。

**○水産物供給基盤整備事業 856,335**

水産業の健全な発展及び水産物供給の安定化を図るため、整備が遅れている漁港施設を計画的に整備する。また、震災や近年の異常気象による漁港施設の被害を教訓として、漁村地域の防災機能を強化する。

**3 多様なニーズに対応した人材育成と就業支援の推進****(1) 多様な人材の育成と確保****○若年者就業促進事業 94,825**

「若者ワークプラザ北九州」を拠点とした就業相談、各種情報提供、セミナー・講座、職業紹介等を実施するほか、若年者を対象とした求人開拓を行う。

## (2)若者・女性・中高年齢者などの就業支援

### 新規

#### ○安心して働ける労働環境づくり事業 21,486

若者を使い捨てにする企業が問題化する中、安心して働くことができる労働環境をつくるため、巡回労働相談を実施するほか、ガイドブックの配布やセミナーの実施等による広報・啓発を行う。

### 新規

#### ○(仮称)みらいワークスタジアム事業 60,000

(うち3月補正予算前倒し分 60,000)

高校生や大学生等を対象に、地元企業の仕事内容や様々な職業人の話を直接聞き、体験できるイベントを開催する。

### 新規

#### ○北九州みらい人材育成事業 10,000

(うち3月補正予算前倒し分 10,000)

大学生等を対象とした地元企業でのインターンシップ等を推進するため、理工系人材のインターンシップのほか、文系人材を含めた協議会の設置に向けた調査研究等を行う。

### 新規

#### ○学生の地元就職促進事業 30,000

(うち3月補正予算前倒し分 30,000)

県外に就学した地元出身大学生等の地元企業への就職を促進するため、首都圏大学等へのヒアリングや地元企業PR等を行う。

### 新規

#### ○北九州で働こう！U・Iターン応援プロジェクト 20,000

(うち3月補正予算前倒し分 20,000)

本市へのU・Iターン就職希望者に対する、地元企業の求人情報の提供や転職相談、職業紹介等の支援を実施する。新たに首都圏への案内窓口設置・出張相談を行う。

#### ○若年者雇用創造チャレンジ！！事業 22,000

(うち3月補正予算前倒し分 22,000)

新規事業や新分野進出等に伴い、新たに若年者を正規雇用する地元企業に対して、当該人件費の一部を助成する。

## 4 にぎわいづくりの推進

### (3) ビジターズ・インダストリーの振興

**新規**

#### ○観光情報発信事業 30,000

情報発信の弱さを克服するため、観光客が本市の観光情報を簡単に検索できる「観光ポータルサイト」を作成する。また、マスメディアを使い、WEBと連動したコンセプトイメージを首都圏等へ向けて発信強化することで観光客の増加を図る。

**新規**

#### ○小倉城周辺魅力向上事業 20,000

本市ならではの観光資源である小倉城・小倉城庭園など小倉城周辺の魅力を向上させるために基本計画を策定し、実施に向けた検討を行う。

**新規**

#### ○観光客受け入れ体制強化事業 19,400

外国人観光客が滞在中に快適に過ごせるよう「小倉都心部」を中心に無料 Wi-Fi を整備し、多言語での観光情報提供を行う。

**新規**

#### ○日本の産業革命遺産観光ルート化事業 11,200

世界遺産登録を目指す「旧官営八幡製鐵所関連施設」と市内にある産業遺産などを観光ルート化することで、観光客の市内での周遊を促す。

**新規**

#### ○門司港レトロ 20 周年記念事業 10,000

門司港レトロは平成 27 年 3 月 25 日にグランドオープンから 20 周年を迎える。門司港レトロ倶楽部などと協働して、既存イベントの拡大や新たに芸術・文化の薫るイベントを年間通じて取り組み、更なる集客や魅力アップを図る。

**新規**

#### ○「プレミアム宿泊券・ふるさと名物商品」利用促進 PR 事業 35,000 (うち 3 月補正予算前倒し分 35,000)

福岡県が実施する同事業の取組みを強化推進するため、本市ならではの企画 HP の作成や市内での周遊を促す「(仮称)北九州パスポート」の作成・活用、広報ツールの作成、宣伝・イベント実施などを行う。

**新規**

○北九州空港観光拠点化推進助成事業 17,000

(うち3月補正予算前倒し分 17,000)

チャーター便によって北九州空港を発着する旅行商品を企画する旅行社等に対して、助成を行う。

**新規**

○ COOL KITAKYUSHU 推進事業 50,000

(うち3月補正予算前倒し分 50,000)

小倉駅新幹線口をメインエリアとして、大規模イベントを実施し、ポップカルチャーの拠点化を図る。

**新規**

○MICE 誘致推進強化事業 82,000

(うち3月補正予算前倒し分 82,000)

MICE 開催のインセンティブとなる開催助成金の拡充や誘致支援施策を実施する。

○にぎわいづくりサポート事業 20,000

(うち3月補正予算前倒し分 20,000)

本市のにぎわいづくりを資する民間事業者に対し、事業経費の一部を補助する制度を強化する。

## Ⅶ アジアの中で成長する ～アジア諸都市との交流・協力と広域連携

### 2 物流基盤を活かした国際ビジネスの振興

#### (1)アジアのゲートウェイ機能を活かした国際ビジネスの促進

**新規**

○対日投資に向けた北九州PR事業 6,295

市内経済の活性化につなげるため、本市のビジネス環境について、トップセールスによる積極的なPRを行う。

○アジアものづくりサポート推進事業 5,000

本市のオペレーションやメンテナンス(O&M)技術集積の強みを積極的に活用し、海外市場展開力・競争力の強化につなげていく体制を整備する。

## 卸売市場の活性化

### ○市場施設大規模緊急改良 357,599

中央卸売市場整備計画に基づき、老朽化した施設の改修、修繕工事等を実施する。

## 渡船事業の経営

### ○「こくら丸」新船建造事業 424,440

離島航路として旅客輸送の安全を確保するため、老朽化が著しい藍島・馬島～小倉航路船舶「こくら丸」の更新として新船を建造する。

## 市民、企業、NPO等との協働した事業展開

### 新規

### ○竹材活用システム支援事業 10,500

放置竹林の解消を図るため、竹が活用される出口戦略づくりに向け、竹の搬出に取り組むための生産団体やNPO、森林所有者等へ助成を行い、竹が安定的に供給・循環される仕組みづくりを行う。

### ○里海づくり推進事業 133,111

豊かな水産資源と生物多様性を持ち、市民が自然とふれあえる沿岸環境を実現するため、藻場・干潟の再生、漁場整備、魚介類の放流などを行い、漁業経営の安定化を図るとともに、市民へ新鮮で安全・安心な水産物を持続的に供給する。